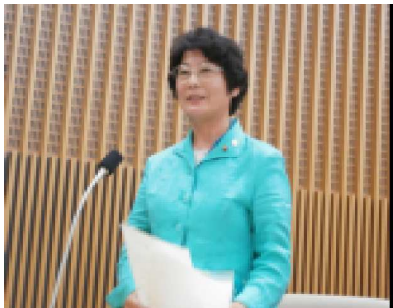




6月市議会

山根とみえ議員の一般質問



日本共産党の山根とみえ議員は、6月定例会市議会の一般質問で（1）地震対策（2）ゴミ処理場建設に伴うゴミの収集方法（3）町内会・自治会の役割について質問しました。以下質問の要旨を報告します。

地震対策について

木造住宅の耐震化対策は

阪神・淡路大震災では、死者のうち約8割が住宅の崩壊などが原因だったと言われています。当市では、新耐震基準に適合していない木造住宅（昭和56年以前に建設された住宅）は約6700棟あるとの答弁でした。山根議員は、神戸市の無料耐震診断助成制度や武蔵野市など耐震工事の助成金を50万円から100万円に引き上げる自治体などを紹介し、当市でも現在30万円までとなっている助成金を、せめて近隣の福生、羽村並みの50万円まで引き上げるよう求めました。市は、財政状況を見極めながら検討してゆきたいと答弁しました。

ゴミの収集方法について

平成26年度よりガス化溶融炉方式による事業が開始されることにより、現在燃やせないゴミのビニールやプラスチック類が燃やせるゴミとなる。詳細については西秋川衛生組合と組織市町村で検討している段階だと答弁しました。山根議員は具体的にはいつ頃までに決めていくのか、また、全住民を対象に説明会を行うよう求めました。市は、平成25年12月から試運転が予定されているので遅くとも年度内に決めていきたい。住民説明会

町内会・自治会の役割について



本年5月のスポーツレクリエーション大会

町内会・自治会は地域の絆や町内の親睦を図るといった観点からも重要な役割を果たしています。一方で、回覧物が多い、募金など集金が多い、スポレクの人集めが大変、役員負担が重い、町内会の仕事は自助・共助・

家具転倒防止器具設置の普及を

建物だけでなく、家具の転倒など屋内の耐震化が重要とされています。市が行った給付事業（平成21年度から23年度まで）の給付件数は3707件で、世帯数の約11%であると答弁。神戸市では高齢者や障がい者などを対象に、取り付け専門員を派遣しその費用の一部を助成し取り付けを促進しています。山根議員は当市でもこうした制度を取り入れるよう求めました。市は、現在は考えていないが必要性は認識していると



室内に設置された家具転倒防止器具

答弁しました。山根議員は、被害を少しでも減らすためにも是非検討するよう再度求めました。

については、町内会・自治会と相談し、必要に応じて対応していきたいと答弁しました。

ペットボトルの回収方法の改善を

ペットボトルの回収方法を資源ゴミと一緒に回収できるように改善を求めました。市は、リサイクル施設の整備に伴いストックヤードも整備され、個別収集も可能となる予定なので、今後、回収方法について検討していきたいと答弁しました。

公助の仕事が多いのでは？、町内会長として日ごろ苦勞していることなど、役員会で出し合えるような場にしてほしい、などたくさんの意見や要望が寄せられています。山根議員はこうした声を紹介し、市も町内会も双方の意見を率直に出し合い、改善できるところは改善し、より良い町内会・自治会活動ができるよう市も援助するよう求めました。市は、市の役割、町内会の役割をよく整理していきたいと答弁しました。

法律相談

6月21日（木）13時30分～15時

予約が必要です。議員団までご連絡ください。